

学年										
小学校						中学校				
1	2	3	4	5	6	1	2	3		
小笠原村立小笠原中学校 国語科 3年 年間指導計画										
月	単元名	深まる学びへ(1)				系単元の系統性の	中学2年生で、表現の効果などについて考えること、作者のものの見方を捉え、自分の考えを広げることがを学習している。ここでは、その学習を活かし、詩に用いられている語句や表現に着目して詩を読み深める。			
4	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫			
	世界はうつくしいと ・詩を通読する。 ・詩を読み深める。 ・詩の特徴を生かして朗読する。						つまずきやすい ポイント	・詩の構成に注意して内容を捉えること。		
							工夫・手立て	・2年生で学習した詩の内容に触れる。 ・グループ活動を行う。 ・デジタル教科書の活用。		
	評価規準									
知識・技能	詩に用いられている語句や表現に着目して考えている。					思考・表現・判断	主体的に学習に取り組む態度		詩の中に出てくる好きな言葉や表現を、理由と共にまとめている。	
	ノート・問題集・定期考査・行動観察								ノート・問題集・定期考査・行動観察	
月	単元名	深まる学びへ(4)				系単元の系統性の	中学2年生で、登場人物の設定を捉えること、登場人物の言動の意味を考えると、人物像や表現の効果などに着目して、作品の魅力を考えることを学習している。ここでは、その学習を活かし、作品の展開を踏まえて人物像を捉え、その生き方について考えを深める。			
4	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫			
	握手 ・作品を通読する。 ・作品の設定を捉える。 ・登場人物の人物像を読み取る。 ・登場人物の心情を読み取る。 ・読み深めた感想を交流する。						つまずきやすい ポイント	・現在と回想を読み分けること。 ・登場人物の心情を読み取ること。		
							工夫・手立て	・ワークシートの工夫。 ・グループ活動を行う。 ・デジタル教科書の活用。		
	評価規準									
知識・技能	時間・場所など、「現在」と「回想」の部分を読み分けるポイントとなる語句や、登場人物の心情や人物像を表す言葉、比喩表現などに着目している。					思考・表現・判断	主体的に学習に取り組む態度		物語の展開のしかたを捉え、学習課題に沿って作品を批評したり、考えたことを伝え合ったりしようとしている。	
	ノート・問題集・定期考査・行動観察								ノート・問題集・行動観察・自己評価	
月	単元名	深まる学びへ(1)				系単元の系統性の	中学2年生で、話の要点を捉え、筋道が通っているかや、意見や根拠について検討することを学習している。ここでは、その学習を活かし、情報の信頼性の確かめ方を理解して使い、内容や表現のしかたを評価しながら聞く。			
5	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫			
	評価しながら聞く ・バットに関する討論会の一部を聞き、メモを取る。 ・評価しながら聞く練習をする。						つまずきやすい ポイント	・自分の考えと比較しながらメモを取ること。		
							工夫・手立て	・話を聞く際の観点を確認させる。 ・ワークシートの工夫。		
	評価規準									
知識・技能	根拠としている情報について、事実関係や裏付けなどに注意して聞いている。					思考・表現・判断	主体的に学習に取り組む態度		聞き取った内容や表現のしかたを進んで評価し、今までの学習を生かしてメモしようとしている。	
	プリント・行動観察								プリント・行動観察	

学年									
小学校						中学校			
1	2	3	4	5	6	1	2	3	
小笠原村立小笠原中学校 国語科 3年 年間指導計画									
月	単元名	深まる学びへ(2)				系単元の	中学2年生で、漢文特有の言葉遣いや調子を意識して朗読し、好きな漢詩を選び、気に入った表現や句を引用しながら、構成や表現の効果を伝え合うことを学習している。ここでは、その学習を活かし、教材文を参考に歴史的背景を押さえ、教材の書き下し文や訓読文を読むことを通して、「論語」の世界に親しむ。また、孔子の人間の生き方に関する考えを、自分の生き方や生活と関連付けて考える。		
5	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫		
	学びて時に之を習ふ——「論語」から ・「論語」という作品について知る。 ・「論語」を読み、孔子の考え方を読み取る。 ・日常生活や自分の生活を振り返り、孔子の言葉が当てはまると思われる体験や伝聞を伝え合う。						つまずきやすいポイント	・漢文のリズムを味わいながら読むこと。 ・好きな論語を選び、理由を書くこと。	
							工夫・手立て	・音読を繰り返し行う。(全体・ペア・個人) ・グループでの話し合いを行う。 ・ワークシートの工夫。 ・デジタル教科書の活用。	
評価規準									
知識・技能	教材文を参考に歴史的背景を押さえ、教材の書き下し文や訓読文を読むことを通して、「論語」の世界に親しんでいる。				思考・表現・判断	孔子の人間の生き方に関する考えを、自分の生き方や生活と関連付けて考えている。		主体的に学習に取り組む態度	人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見をもち、今までの学習を生かして朗読したり考えを伝え合ったりしようとしている。
	ノート・プリント・暗唱・問題集・定期考査・行動観察					ノート・プリント・問題集・定期考査・行動観察			ノート・プリント・行動観察・自己評価
月	単元名	深まる学びへ(1)				系単元の	中学1年生でシンキングツールなどを効果的に活用し、情報の比較・分類をできるようにしている。中学2年生で情報を整理し、視覚的に表す方法を理解している。ここでは、その学習を活かし、情報の発信日時、発信源、情報の目的などの観点から、情報の信頼性を確認する。		
5	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫		
	情報整理のレッスン ・教材文を読み、情報を整理し、情報の信頼性について考える。 ・問題に取り組む。						つまずきやすいポイント	・情報の信頼性について考えること。	
							工夫・手立て	・ワークシートの工夫。 ・デジタル教科書の活用。	
評価規準									
知識・技能	情報の発信日時、発信源、情報の目的などの観点から、情報の信頼性を確認している。				思考・表現・判断			主体的に学習に取り組む態度	学習課題に沿って情報の信頼性の確かめ方を理解し、積極的に使おうとしている。
	プリント・行動観察								プリント・行動観察

学年										
小学校						中学校				
1	2	3	4	5	6	1	2	3		
小笠原村立小笠原中学校 国語科 3年 年間指導計画										
月	単元名	深まる学びへ(4)				系単元の	中学1年生で集めた情報を、比較・分類して整理し、伝えたいことを明確にして説明すること、中学2年生で多様な方法で、さまざまな情報を収集し、考えをまとめることを学習している。ここでは、その学習を活かし、文章の種類とその特徴について理解を深め、文章の種類を選び、構成を工夫して魅力的な紙面を編集する。			
5	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫				
	文章の種類を選んで書く ・4, 5人のグループで編集会議を開く。 ・紙面構成を考えて下書きをする。 ・下書きを読んで助言し合い、清書する。 ・冊子にまとめ、読み合う。					つまみずきやすい ポイント ・記事の内容を決めること。				
						工夫・手立て ・付箋やカードの活用。 ・chromebookの活用。 ・グループでの活動。				
評価規準										
知識・技能	随筆、物語、報道文など、さまざまな種類の文章があることを理解している。				思考・表現・判断	担当した記事の内容が効果的に伝わる文章の種類を選択し、その種類に合わせた文章の構成や表現を工夫している。			主体的に学習に取り組む態度	文章の種類を選択し、学習の見通しをもって情報を編集し文章にまとめようとしている。
	プリント・行動観察					プリント・行動観察				プリント・行動観察・自己評価
月	単元名	深まる学びへ(1)				系単元の	小学校5年生で特別な読み方をする言葉について学習している。ここでは、その学習を活かし、漢字の音訓や、熟語における音訓の組み合わせに注意して、漢字を読んだり書いたりする。			
5	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫				
	熟語の読み方 ・教材文を読み、熟語の読み方について理解する。 ・練習問題に取り組む。					つまみずきやすい ポイント ・重箱読み、湯桶読み、熟字訓を理解すること。				
						工夫・手立て ・ワークやプリントを用いて繰り返し問題を解く。 ・デジタル教科書の活用。				
評価規準										
知識・技能	漢字の音訓や、熟語における音訓の組み合わせに注意して、漢字を読んだり書いたりしている。				思考・表現・判断				主体的に学習に取り組む態度	学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	ノート・問題集・定期考査・行動観察									ノート・問題集・定期考査・行動観察

学年									
小学校						中学校			
1	2	3	4	5	6	1	2	3	
小笠原村立小笠原中学校 国語科 3年 年間指導計画									
月	単元名	視野を広げて(4)				系単元の	中学2年生で、文章全体と部分の関係や、文章と図表の関係に注意して読むこと、自分の知識や考えと比べながら、文章の構成や論理の展開を吟味すること、観点を明確にして文章を比較し、その分析を基に構成や表現の効果を考えることを学習している。ここでは、その学習を活かし、文章における具体と抽象の関係を捉え、論説の特性を踏まえて読み、文章の構成や論理の展開を評価する。		
5	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫		
	作られた「物語」を超えて ・全文を通読する。 ・筆者の問題意識(話題)を捉える。 ・筆者の主張と論理の展開を捉える。 ・筆者の主張と論理の展開を評価する。						つまずきやすいポイント		
							工夫・手立て		
評価規準									
知識・技能		ゴリラの事例と人間社会の話に着目して、具体と抽象の関係を理解している。論説の特性を踏まえ、原因と結果、意見と根拠、具体と抽象などの関係に着目して、論理の展開のしかたを図式化するなどして捉えている。				思考・表現・判断		原因と結果、意見と根拠、具体と抽象などの関係に着目して、それらが文章の中で無理なく結び付いているかを確かめながら、自分の考えをまとめている。	
		ノート・問題集・定期考査・行動観察						ノート・問題集・定期考査・行動観察	
								主体的に学習に取り組む態度	
								文章の構成や論理の展開のしかたについて評価し、情報と情報の関係について深めた理解を生かして、文章にまとめようとしている。	
								ノート・問題集・行動観察・自己評価	
月	単元名	視野を広げて(1)				系単元の	中学1年生で根拠をもとに、根拠と意見をつなぐ考えをまとめ意見を伝えること、原因と結果がどうつながっているか整理すること、中学2年生では具体と抽象の概念を学習している。ここでは、その学習を活かし、具体と抽象の関係にある論理の展開のしかたや、抽象と具体の程度を捉えながら読んだり書いたりする。		
6	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫		
	思考のレッスン1具体化・抽象化 ・教材文を通読し、具体化と抽象化の程度について理解する。						つまずきやすいポイント		
							工夫・手立て		
評価規準									
知識・技能		具体と抽象の関係にある論理の展開のしかたや、抽象と具体の程度を捉えながら読んだり書いたりしている。				思考・表現・判断			
		ノート・行動観察						主体的に学習に取り組む態度	
								具体と抽象の関係について積極的に理解し、学習した内容を生かして課題に取り組もうとしている。	
								ノート・行動観察	

学年									
小学校						中学校			
1	2	3	4	5	6	1	2	3	
小笠原村立小笠原中学校 国語科 3年 年間指導計画									
6月	単元名	視野を広げて(4)				系単元の	中学1年生で話の構成を工夫し、声の大きさや速さなど、話し方を意識して話すこと、中学2年生では、話の構成や資料を工夫して相手の心を動かす提案をすることを学習している。ここでは、その学習を活かし、根拠となる情報の信頼性を確かめ、聞き手の心に訴えるスピーチをする。		
学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫			
説得力のある構成を考えよう ・話題を決めて、情報を集める。 ・話の構成を考える。 ・スピーチの会を開く。						つまみずきやすい ・話題について情報を集めること。 ・話の構成を考えること。			
6 工夫・手立て						・ワークシートの工夫。 ・chromebookの活用。 ・デジタル教科書の活用。			
評価規準									
知識・技能		情報の発信者・出典、調査方法、情報の数などが適切に確認して、必要な情報を集めている。		思考・表現・判断		話す目的や相手を明確にし、相手の立場に立って、伝える必要がある情報を選んでいる。興味を引く導入や明確な主張、聞き手が納得できる根拠や提案の設定、適切な説明の順序などを考えて、話を構成している。		主体的に学習に取り組む態度	
		プリント・発表・行動観察				プリント・発表・行動観察		プリント・発表・行動観察・自己評価	
6月	単元名	視野を広げて(2)				系単元の	中学2年生で自立語の品詞や用言の活用形と活用の種類、助詞・助動詞の働きや種類について学習している。ここでは、その学習を活かし、既習の文法事項が、日常の会話や文章を見直したり文の表現効果を考えたりする際のポイントになることを理解する。		
学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫			
文法への扉1 ・教科書を読み、学習事項について理解する。 ・教科書の練習問題やワークの問題を解き、理解したことを確認する。						つまみずきやすい ・既習事項を活かして問題を解くこと。			
6 工夫・手立て						・ワークやプリントを用いて繰り返し問題を解く。 ・デジタル教科書の活用。			
評価規準									
知識・技能		既習の文法事項が、日常の会話や文章を見直したり文の表現効果を考えたりする際のポイントになることを理解している。		思考・表現・判断		助詞や助動詞の働きなどを進んで振り返り、今までの学習を活かして練習問題に取り組もうとしている。		主体的に学習に取り組む態度	
		ノート・問題集・定期考査・行動観察				ノート・問題集・行動観察			

学年									
小学校						中学校			
1	2	3	4	5	6	1	2	3	
小笠原村立小笠原中学校 国語科 3年 年間指導計画									
月	単元名	情報社会を生きる(3)				系単元の	中学1年生で情報を集めることや情報を読み取る方法などについて、中学2年生ではメディアを比べて、特徴を理解し、目的や状況に応じたメディアの選び方を考えている。ここでは、その学習を活かし、事実や事例の選び方、取り上げ方や語句の選び方に着目して文章を読み、書き手の思惑や意図について考える。		
6	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫		
	実用的な文章を読む ・社会生活の中で触れたことのある実用的な文章を挙げる。 ・「やってみよう」①～③に取り組む。 ・報道文を通読し、課題に取り組む。						つまみずきやすい ポイント		
							工夫・手立て ・新聞記事を比較して読み、表現の仕方について表現すること。 ・生徒が関心をもちそうな記事を提示する。 ・ワークシートの工夫。 ・グループでの話し合いを取り入れる。 ・デジタル教科書の活用。		
知識・技能		実用的な文章の資料ごとに、情報の発信者・発信時・発信目的を確認している。				思考・表現・判断 事実や事例の選び方、取り上げ方や語句の選び方に着目して文章を読み、書き手の思惑や意図について考えている。観点ごとに情報を整理し、着眼的を参考に情報の客観性や信頼性を確認しながら表にまとめている。		主体的に学習に取り組む態度 文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて進んで評価し、学習課題に沿って報道の文章を比較し、考えをまとめようとしている。	
		プリント・行動観察				プリント・行動観察		プリント・行動観察・自己評価	
月	単元名	言葉とともに(3)				系単元の	中学2年生で知識や経験と結び付けて短歌を読み深めている。ここでは、その学習を活かし、俳句の特徴について理解を深め、内容や表現に着目し、俳句を評価しながら読み深める。		
7	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫		
	俳句の可能性・俳句を味わう ・情景を想像しながら、それぞれの俳句を朗読する。 ・本文を読み、俳句についてまとめる。 ・「俳句を作って楽しもう」に取り組む。						つまみずきやすい ポイント		
							工夫・手立て ・ワークシートの工夫。(俳句の解釈・俳句の作り方) ・chromebookの活用。 ・デジタル教科書の活用。		
評価規準									
知識・技能		俳句で使われている語句の意味を理解したり、豊かなイメージを喚起する効果的な語句に着目したりしている。俳句の形式とその特徴について理解し、俳句を創作している。				思考・表現・判断 語句の選び方や表現のしかたに着目して俳句を読み、評価している。伝えたいことが効果的に伝わる構成を考えて、俳句を創作している。自分の思いや考えがわかりやすく伝わるように、語句や表現を工夫して俳句を創作している。		主体的に学習に取り組む態度 文章の種類とその特徴について理解し、学習課題に沿って、鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。	
		ノート・プリント・定期考査・問題集・行動観察				ノート・プリント・定期考査・問題集・行動観察		ノート・プリント・行動観察・自己評価	

学年									
小学校						中学校			
1	2	3	4	5	6	1	2	3	
小笠原村立小笠原中学校 国語科 3年 年間指導計画									
月	単元名	言葉とともに(1)				系単元の	これまでの学習を踏まえ、古典や近代文学、年配の人との会話の例などの中から、自分たちの世代とは異なる言葉の使い方を見つける。		
7	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫			
	言葉を選ぶ ・言葉の変化について知る。 ・言葉の変化について話し合う。 ・相手や場面によって、言葉を選ぶ。					つまみずきやすい ポイント ・相手や場面に合わせて言葉を選ぶこと。			
						工夫・手立て ・ワークシートの工夫。 ・デジタル教科書の活用。			
評価規準									
知識・技能		古典や近代文学、年配の人との会話の例などの中から、自分たちの世代とは異なる言葉の使い方を見付けている。				思考・表現・判断		主體的に学習に取り組む態度	
		ノート・行動観察						ノート・問題集・行動観察	
月	単元名	言葉とともに(1)				系単元の	小学校5年生で和語・漢語・外来語について学習している。ここでは、その学習を活かし、和語・漢語・外来語について理解し、相手や場面に応じて適切に使い分ける。		
6	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫			
	和語・漢語・外来語 ・教材文を読み、和語・漢語・外来語について理解する。 ・練習問題に取り組む。					つまみずきやすい ポイント ・和語・漢語・外来語を適切に使い分けること。			
						工夫・手立て ・ワークやプリントを用いて繰り返し問題を解く。 ・デジタル教科書の活用。			
知識・技能		和語・漢語・外来語について理解し、相手や場面に応じて適切に使い分けている。				思考・表現・判断		主體的に学習に取り組む態度	
		ノート・問題集・定期考査・行動観察						ノート・問題集・行動観察	

学年									小笠原村立小笠原中学校 国語科 3年 年間指導計画			
小学校						中学校						
1	2	3	4	5	6	1	2	3				
7	月	単元名	読書生活を豊かに(3)			系単元の	<p>中学1年生で読書が知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことについて、中学2年生で活動を通して本の魅力を感じ、今後どんな本を読みたいかを考える。ここでは、その学習を活かし、さまざまな読書の楽しみ方について理解し、読書活動を通して、読書の楽しさや意義を発見する。</p>					
学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫						
<p>読書を楽しむ・読書案内・読書コラム ・教材文を通読し、さまざまな読書の楽しみ方について知る。 ・「ブックトーク」を行う。</p>						つまずきやすい ポイント			<p>・本の魅力を伝えること。</p>			
						工夫・手立て			<p>・ワークシートの工夫。(ブックトークの構成) ・chromebookの活用。 ・デジタル教科書の活用。</p>			
評価規準												
知識・技能		活動を通して本の魅力を感じ、今後どんな本を読みたいかを考えている。			思考・表現・判断		これまでの読書生活を振り返り、豊かにするためにできることを具体的に考えている。			本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして、本の魅力や感想を共有しようとしている。		
		プリント・行動観察					プリント・行動観察			プリント・行動観察・自己評価		
8	月	単元名	状況の中で(2)			系単元の	<p>中学2年生で表現の効果などについて考えること、作者のものの見方を捉え、自分の考えを広げることを学習している。ここでは、その学習を活かし、比喩や象徴的な表現に着目し、文脈の中での意味を考え、表現の効果を評価し、現代社会の状況と重ね合わせて考えを深める。</p>					
学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫						
<p>挨拶——原爆の写真によせて ・作品を通読し、当時の時代背景について確認する。 ・「顔」という表現を捉える。 ・表現の効果を評価する。 ・自分の意見を述べる。</p>						つまずきやすい ポイント			<p>・筆者の考え方に着目して、自分の考えをもつこと。</p>			
						工夫・手立て			<p>・ワークシートの工夫。 ・グループ活動を行う。 ・chromebookの活用。 ・デジタル教科書の活用。</p>			
評価規準												
知識・技能		比喩や象徴的な表現に着目し、文脈の中での意味を考えている。			思考・表現・判断		詩に用いられている比喩や象徴的な表現の効果について自分の考えをまとめている。現代社会の状況と重ね合わせながら詩を読み深め、作者の思いや考えに対して自分の考えをまとめている。			詩の構成や表現のしかたについて積極的に評価し、学習課題に沿って読み深めた詩について、感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。		
		ノート・プリント・定期考査・問題集・行動観察					ノート・プリント・定期考査・問題集・行動観察			ノート・プリント・問題集・行動観察・自己評価		

学年									
小学校						中学校			
1	2	3	4	5	6	1	2	3	
小笠原村立小笠原中学校 国語科 3年 年間指導計画									
月	単元名	状況の中で(6)				系単元の	1学期には作品の展開を踏まえて人物像を捉え、その生き方について考えを深めることを学習している。ここでは、その学習を活かし、人の生き方や社会との関わり方を考えるうえでの、読書の意義を理解し、小説を批判的に読み、社会や人間について考える。		
9	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫			
	故郷 ・作品を通読し、作品の設定を捉える。 ・場面や登場人物の設定に着目して読み取る。 ・作品を批評する。					つまずきやすいポイント	・登場人物の関係を整理すること。		
					工夫・手立て	・ワークシートの工夫。(人物関連図) ・グループ活動を行う。 ・chromebookの活用。 ・デジタル教科書の活用。			
知識・技能		文学作品を読むことが、自分の人生や自分が生きている社会について深く考えるきっかけとなることに気付いている。			思考・表現・判断	自分の知識や経験と比べたり、語り手や人物の立場、時代背景などを変えて読んでみたりして、作品のもつ特性や価値を探っている。「私」が考えている「希望」や望む社会の在り方などについてどう考えるか、根拠に基づいて自分の意見を述べている。		主体的に学習に取り組む態度	文章を批判的に読み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。
		ノート・プリント・定期考査・問題集・行動観察				ノート・プリント・定期考査・問題集・行動観察			ノート・プリント・問題集・行動観察・自己評価
月	単元名	状況の中で(1)				系単元の	中学1年生で質問で話を引き出す、音声の動きや仕組みを意識して話すこと、中学2年生で言葉には、相手の行動を促す働きがあることを意識し、質問で思いや考えを引き出すことを学習している。ここでは、その学習を活かし、相手や場に応じた適切な言葉遣いをし、質問で相手の思いに迫る。		
9	質問で相手の思いに迫る					「わかる」から「できる」授業への工夫			
	・対談の準備をする。 ・対談を行う。					つまずきやすいポイント	・話の展開を予想しながら聞くこと。 ・質問で話を引き出すこと。		
					工夫・手立て	・ワークシートの工夫。 ・グループでの活動を取り入れる。 ・デジタル教科書の活用。			
評価規準									
知識・技能		話し手や聞き手が、対談の中で、適切な言葉遣いをしている。			思考・表現・判断	自分の知識や経験などと結び付けながら話を聞き、対談の中で、相手の思いに迫ることができた質問や話を豊かに展開させた応答は、どのようなものだったか捉えている。		主体的に学習に取り組む態度	話の展開を予測しながら聞き、今までの学習を生かして質問したり評価を述べたりしようとしている。
		プリント・行動観察				プリント・行動観察			プリント・行動観察

学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 3年 年間指導計画		
小学校						中学校			
1	2	3	4	5	6	1	2	3	
9	月	単元名	状況の中で(1)			系単元の	<p>中学1年生で読み手の立場に立って推敲すること、中学2年生で敬語の働きを理解し、適切に使い、表現の効果に着目して推敲することを学習している。また、具体と抽象について学習している。ここでは、その学習を活かし、「具体と抽象」、「事実と意見」、「意見と根拠」について既習した内容を振り返りながら課題に取り組む。</p>		
学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫			
<p>【推敲】論理の展開を整える ・文章を通読し、課題に取り組む。</p>						<p>つまずきやすいポイント</p> <p>・意見が明確に伝わる文章に整えること。</p>			
						<p>工夫・手立て</p> <p>・ワークシートの工夫。(推敲するポイントの提示) ・デジタル教科書の活用。</p>			
評価規準									
知識・技能			「具体と抽象」、「事実と意見」、「意見と根拠」について既習した内容を振り返りながら課題に取り組んでいる。			思考・表現・判断		課題に沿って文章を推敲し、論理の展開を整えている。	主体的に学習に取り組む態度
プリント・行動観察						プリント・行動観察		プリント・行動観察・自己評価	目的や意図に応じた表現になっているかを粘り強く確かめ、情報と情報との関係の知識を生かして推敲しようとしている。
9	月	単元名	状況の中で(1)			系単元の	<p>小学校3・4年生で、ことわざと慣用句、中学1年生で故事成語について学習している。ここでは、その学習を活かし、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにする。</p>		
学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫			
<p>慣用句・ことわざ・故事成語 ・教材文を読み、慣用句・ことわざ・故事成語について理解する。 ・練習問題に取り組む。</p>						<p>つまずきやすいポイント</p> <p>・慣用句・ことわざ・故事成語について理解すること。</p>			
						<p>工夫・手立て</p> <p>・ワークやプリントを用いて繰り返し問題を解く。 ・小テストを行い、定着度を確認する。 ・デジタル教科書の活用。</p>			
評価規準									
知識・技能			慣用句を使って短文を作ったり、ことわざや故事成語を調べたりしている。			思考・表現・判断		主体的に学習に取り組む態度	積極的に慣用句やことわざ、故事成語を理解し、今までの学習を生かして短文を作ったり調べたりしようとしている。
ノート・問題集・定期考査・行動観察								ノート・問題集・行動観察	

学年											
小学校						中学校					
1	2	3	4	5	6	1	2	3			
小笠原村立小笠原中学校 国語科 3年 年間指導計画											
月	単元名	自らの考えを(3)				系単元の	1学期には文章における具体と抽象の関係を捉え、論説の特性を踏まえて読み、文章の構成や論理の展開を評価することを学習している。ここでは、その学習を活かし、情報の信頼性を確かめながら読み、文章を批判的に読み、これからの社会の在り方について自分の意見をもつ。				
10	人工知能との未来・人間と人工知能と創造性 ・文章の要旨を捉える。 ・文章の比較を基にグループで話し、考えを広げる。 ・自分の考えを文章にまとめる。						「わかる」から「できる」授業への工夫				
							つまずきやすいポイント	・それぞれの文章の要旨をまとめること。			
							工夫・手立て	・ワークシートの工夫。(文末表現に着目・文型を提示) ・グループでの話し合いを行う。 ・デジタル教科書の活用。			
評価規準											
知識・技能		自分の知識や経験と比べ、筆者の意見や根拠に納得できるかどうか検討しようとしている。				思考・表現・判断		二つの文章を比較して共通点や相違点を表にまとめ、それを基に、話し合っている。自分の立場を明確にし、根拠となる事実を引用するなどして、自分の意見を書いている。		主体的に学習に取り組み態度	積極的に二つの文章を批判的に読み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。
		ノート・プリント・問題集・定期考査・行動観察						ノート・プリント・問題集・定期考査・行動観察			ノート・プリント・問題集・行動観察・自己評価
月	単元名	自らの考えを(4)				系単元の	中学1年生で本や資料から文章や図表を引用し、根拠を明確にして自分の考えを伝えることを学習している。中学2年生で自分の意見を支えるためのより適切な根拠の在り方について考え、適切な根拠を選び、構成などを工夫して明確な意見文を書いている。ここでは、その学習を活かし、具体的な題材を基に、その価値などについて評価し、説得力のある批評文を書く。				
10	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫				
	説得力のある批評文を書く ・批評文について知り、題材を選ぶ。 ・観点を決めて分析する。 ・構成を考える。 ・推敲して仕上げる。						つまずきやすいポイント				
							工夫・手立て	・観点の設定の例を具体的に紹介する。 ・ワークシートの工夫。(文型の提示) ・デジタル教科書の活用。			
評価規準											
知識・技能		具体的な題材を基に、その価値についてまとめている。				思考・表現・判断		観点を決めて問いと考えを書き出し、表にまとめるなどして分析している。自分の意見を支える根拠となる資料を引用するなどして構成を考え、批評文を書いている。		主体的に学習に取り組み態度	表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりし、学習の見通しをもって批評文を書こうとしている。
		プリント・行動観察						プリント・行動観察			プリント・行動観察・自己評価

学年									
小学校						中学校			
1	2	3	4	5	6	1	2	3	
小笠原村立小笠原中学校 国語科 3年 年間指導計画									
10月	単元名	自らの考えを(1)				系統性の	中学1年生で意見と根拠の関係を理解し、話し合いの展開を捉えることを学習している。中学2年生で意見や根拠について検討し、異なる立場や考えを尊重しながら考えることを学習している。ここでは、その学習を活かし、具体化・抽象化の方法を理解して使い、論点を整理し、展開を捉えて話し合う。		
学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫			
【議論】話し合いを効果的に進める ・卒業文集のテーマ設定についての話し合いの例を聞き、論点を整理する。 ・テキストの口の欄に当てはまる発言を考える。						つまみずきやすい ポイント			
						・発言内容を整理すること。			
						工夫・手立て			
						・ワークシートの工夫。 ・デジタル教科書の活用。			
評価規準									
知識・技能		全体に関わる大きな論点から、具体的な論点へと話し合いを進める方法を考えている。				思考・表現・判断		話し合いの目的や進み具合など展望をもって効果的に話し合う工夫を考えている。	主体的に学習に取り込む態度
		プリント・行動観察						プリント・行動観察	プリント・行動観察
11月	単元名	自らの考えを(4)				系統性の	中学1年生で意見と根拠を明確にし、話題や展開を捉えて話し合うことを学習している。中学2年生でその学習を活かし、立場を明確にして、適切な根拠とともに意見を述べ、異なる立場の人と話し合うことを学習している。ここでは、その学習を活かし、複数の情報や発言を結び付けて考え、話し合っ合意を形成する。		
学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫			
合意形成に向けて話し合おう ・合意形成の重要性を知り、課題を見つけ、議題を決める。 ・グループで具体的な提案を考える。 ・全体会議を開く						つまみずきやすい ポイント			
						・グループで具体的な提案を出すこと。			
						工夫・手立て			
						・グループでの話し合い。(ブレインストーミング) ・ワークシートの工夫。			
評価規準									
知識・技能		複数の発言の共通点を結び付けて、一つの提案にまとめている。				思考・表現・判断		提案を分類・整理し、観点を決めて検討したり、互いの意見の長所を生かしたりして話し合っている。	主体的に学習に取り込む態度
		プリント・行動観察						プリント・行動観察	プリント・行動観察・自己評価

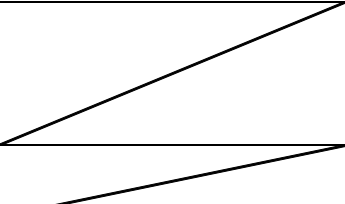
学年									
小学校						中学校			
1	2	3	4	5	6	1	2	3	
小笠原村立小笠原中学校 国語科 3年 年間指導計画									
月	単元名	自らの考えを(2)				系単元の	中学2年生で表現の効果などについて考えること、作者のものの見方を捉え、自分の考えを広げることが学習している。2学期には詩の表現の効果の評価することを学習している。ここでは、その学習を活かし、表現のしかたについて評価する。また、語感をみがき、語彙を豊かにする。		
11	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫			
	初恋 ・言葉の響きやリズムを味わいながら「初恋」を朗読する。 ・語句の意味や表現に込められた作者の思いを読み取り、感じたことを発表し合う。					つまみずきやすいポイント ・詩の中の人物の心情を想像すること。			
						工夫・手立て ・音読を繰り返し行う。(全体・ペア・個人) ・ワークシートの工夫。 ・グループでの話し合い。			
評価規準									
知識・技能		言葉の響きやリズムを味わいながら朗読している。			思考・表現・判断		文語定型詩の構成や場面の展開に注意して、表現された情景や心情を想像している。		主体的に学習に取り組む態度
		ノート・暗唱・問題集・定期考査・行動観察					ノート・問題集・定期考査・行動観察		ノート・暗唱・問題集・行動観察
月	単元名	いにしえの心を受け継ぐ(1)				系単元の	中学2年生で作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しみ、現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を学ぶことを学習している。ここでは、その学習を活かし、「和歌の世界」を読んだり、「仮名序」を朗読して比喩的な効果を確認したりしながら、和歌に対する古人の思いを捉えようとする。		
11	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫			
	古今和歌集 仮名序 ・「和歌の世界」を読む。 ・「古今和歌集 仮名序」冒頭部分を朗読し、作者の思いを想像する。					つまみずきやすいポイント ・語句の使い方に関心しながら、「古今和歌集 仮名序」を読むこと。			
						工夫・手立て ・音読を繰り返し行う。(全体・ペア・個人) ・デジタル教科書の活用。			
評価規準									
知識・技能		「和歌の世界」を読んだり、「仮名序」を朗読して比喩的な効果を確認したりしながら、和歌に対する古人の思いを捉えようとしている。			思考・表現・判断		古典の世界に親しみ、今までの学習を生かして朗読しようとしている。		主体的に学習に取り組む態度
		ノート・問題集・定期考査・行動観察							ノート・問題集・行動観察

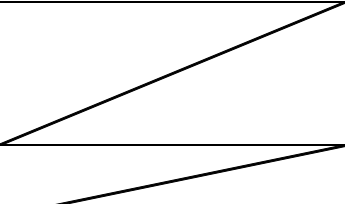
学年							小笠原村立小笠原中学校 国語科 3年 年間指導計画			
小学校						中学校				
1	2	3	4	5	6	1	2	3		
月	単元名	いにしへの心を受け継ぐ (3)				系単元の	前単元で学習した内容を踏まえ、三つの歌集の歌を比較したり朗読したりして、それぞれの作者の心情や情景を想像する。また、心情や情景、和歌の表現方法などについて自分の考えをもつ。			
11	君待つと——万葉・古今・新古今 ・和歌を声に出して読む。 ・和歌の世界を味わう。 ・心に響いた和歌を一首選び、鑑賞文を書く。						「わかる」から「できる」授業への工夫			
							つまずきやすい ポイント	・和歌に詠まれた心情や情景を読み取る。		
							工夫・手立て	・ワークシートの工夫。(心情や情景の読み取り) ・chromebookの活用。 ・デジタル教科書の活用。 ・グループでの話し合いを行う。		
評価規準										
知識・技能		三つの歌集の歌を比較したり朗読したりして、それぞれの作者の心情や情景を想像している。				思考・表現・判断		気に入った言葉や表現の効果などに気付き、引用している。心情や情景、和歌の表現方法などについて自分の考えをもっている。		
		ノート・プリント・問題集・定期考査・行動観察						主体的に学習に取り組む態度		
								和歌の表現のしかたについて評価し、見直しをもって鑑賞文を書こうとしている。		
								ノート・プリント・問題集・行動観察・自己評価		
月	単元名	いにしへの心を受け継ぐ (4)				系単元の	1学期の「論語」では孔子の人間の生き方に関する考えを、自分の生き方や生活と関連付けて考えている。また前単元では和歌の作者の心情や情景を想像している。ここでは、学習した内容を踏まえ、作者や作品について興味をもつ。また、芭蕉の「旅」についての考えを読み取り、現代の「旅」がもつ意味と比較したり、芭蕉が見たものや感じたことを想像したりする。			
11	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫			
	夏草——「おくのほそ道」から ・作品を朗読する。 ・芭蕉のものの見方や感じ方を読み取る。 ・心に響く俳句について発表する。 ・学習を振り返る。						つまずきやすい ポイント			
							工夫・手立て	・現代と作品の中の旅を比較すること。 ・筆者の考えを読み取ること。 ・ワークシートの工夫。(筆者の旅に対する思い) ・chromebookの活用。 ・デジタル教科書の活用。 ・グループでの話し合いを行う。		
評価規準										
知識・技能		作者や作品について興味をもち、俳句と地の文との関係に注意しながら朗読している。				思考・表現・判断		古典の言葉を引用して鑑賞文やメッセージを書いている。芭蕉が見たものや感じたことを想像している。自分の思いを表現するのにふさわしい文章の種類を選び、相手の状況を踏まえて構成を工夫してメッセージを書いている。		
		ノート・問題集・定期考査・暗唱・行動観察						主体的に学習に取り組む態度		
								人間、社会、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている。		
								ノート・問題集・暗唱・行動観察		

学年									
小学校						中学校			
1	2	3	4	5	6	1	2	3	
小笠原村立小笠原中学校 国語科 3年 年間指導計画									
12月	単元名	価値を生み出す(3)				系単元の	1学期には文章における具体と抽象の関係を捉え、論説の特性を踏まえて読み、文章の構成や論理の展開を評価することを学習している。2学期には情報の信頼性を確かめながら読み、これからの社会の在り方について自分の意見をもつことを学習している。ここでは、その学習を活かし、筆者のものの見方や考え方を捉え、社会や人間について自分の意見をもつ。		
学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫			
誰かの代わりに ・筆者の考えを確認しながら全文を通読する。 ・筆者の考え方について話し合う。 ・自分の考えをまとめる。						つまずきやすいポイント			
						工夫・手立て			
評価規準									
知識・技能		抽象的な概念を表す語句を辞書で調べたり、文脈上での意味を確認したりしながら、文章を読んでいる。			思考・表現・判断		文章を批判的に読み、友達と意見を交換しながら、筆者の考えについて自分の考えをまとめている。		
		ノート・プリント・問題集・定期考査・行動観察					ノート・プリント・問題集・定期考査・行動観察		
							主体的に学習に取り組み、人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習を生かして、理解したことや考えたことについて討議したり文章にまとめたりしようとしている。		
							ノート・プリント・問題集・定期考査・行動観察・自己評価		
12月	単元名	価値を生み出す(3)				系単元の	中学1年生で書評を書き助言を基に文章をよりよくすることを学習している。中学2年生で作品の魅力を効果的に伝えることを学習している。ここでは、その学習を活かし、具体的な情報に基づいて、自分の考えをまとめ、小論文で自分の考えを書く。		
学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫			
グラフを基に小論文を書く ・グラフから情報を客観的に読み取り、自分なりの問いを立てて分析する。 ・構成や内容を考えて小論文を書き、助言し合う。						つまずきやすいポイント			
						工夫・手立て			
評価規準									
知識・技能		具体的な情報を基に、着眼点を決めて分析し、自分の考えをまとめている。			思考・表現・判断		資料から読み取ったことと考えとの関連などについて、改善点を助言し合って推敲している。		
		プリント・行動観察					プリント・行動観察		
							論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえて粘り強く推敲し、学習の見直しをもって小論文を書こうとしている。		
							プリント・行動観察・自己評価		

学年										
小学校						中学校				
1	2	3	4	5	6	1	2	3		
小笠原村立小笠原中学校 国語科 3年 年間指導計画										
12月	単元名	価値を生み出す(1)				系統性の	中学1年生で単語の活用や、中学2年生で助詞・助動詞の働きについて学習している。ここでは、その学習を活かし、単語の類別について理解するとともに、単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解する。			
学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫				
文法への扉2 ・教科書を読み、学習事項について理解する。 ・教科書の練習問題やワークの問題を解き、理解したことを確認する。						・既習事項を活かして問題を解くこと。 ・ワークやプリントを用いて繰り返し問題を解く。 ・デジタル教科書の活用。				
評価規準						知識・技能 「ない」の違いについて品詞や働きの違いを文章の中で理解している。 思考・表現 思考・判断 主体的に学習に取り組む態度				
ノート・問題集・定期考査・行動観察						単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて進んで理解し、これまでの学習を生かして課題に取り組もうとしている。 ノート・問題集・定期考査・行動観察				
12月	単元名	読書に親しむ(1)				系統性の	1学期にはさまざまな読書の楽しみ方について理解し、読書活動を通して、読書の楽しさや意義について考えている。ここでは、その学習を活かし、自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解する。			
学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫				
読書案内 ・「エルサルバドルの少女 ハスース」と「紛争地の看護師」を読み比べ、登場する人物の生き方について自分の考えをもつ。						・文章を読んで考えたことを文章にまとめること。 ・ワークシートの工夫。 ・グループ活動。(感想の交流) ・デジタル教科書の活用。				
評価規準						知識・技能 二つのノンフィクションを読み、読書によって、さまざまな状況に生きる人々やそこで活動する人々について知ったり、読書が自分の生き方を支えてくれることに気付いたりする。 思考・表現 思考・判断 主体的に学習に取り組む態度				
プリント・行動観察						読書を通して、考えたことや気付いたことを読書ノートに書いたり、「私のおすすめ」として紹介したりしている。 進んで読書の意義と効用について理解し、これまでの学習や経験を生かして、ノンフィクションを読んで考えたことをまとめようとしている。 プリント・行動観察				

学年									小笠原村立小笠原中学校 国語科 3年 年間指導計画		
小学校						中学校					
1	2	3	4	5	6	1	2	3			
月	単元名	未来へ向かって(3)				系単元の	2学期には人の生き方や社会との関わり方を考えるうえでの、読書の意義を理解し、小説を批判的に読み、社会や人間について考えることを学習している。ここでは、その学習を活かし、人の生き方や社会との関わり方を考えるうえでの、読書の意義を理解し、国際社会における人と人との関係について考える。				
1	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫				
	温かいスープ ・時代背景や筆者の置かれた状況を捉えながら全文を通読する。 ・筆者の考える「国際性」とは何かを読み取る。 ・国際性について自分の考えをもつ。						つまずきやすいポイント		・文章の内容を基に自分の考えをもつこと。		
							工夫・手立て		・ワークシートの工夫。(書き方を示す) ・chromebookの活用。 ・デジタル教科書の活用。		
評価規準											
知識・技能		文章に表現された人と人との関係を通して、国際性とは何かを読み取ったり、読書が自分の生き方や社会について考えるきっかけとなることに気付いたりしている。				思考・表現・判断		自分の生き方と作品に表現された考え方を比較して、「国際性」とは何か自分の考えをまとめている。		主体的に学習に取り組む態度	人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。
		ノート・プリント・定期考査・問題集・行動観察						ノート・プリント・定期考査・問題集・行動観察			ノート・プリント・行動観察・自己評価
月	単元名	未来へ向かって(2)				系単元の	2学期「初恋」では表現のしかたについて評価し、語感をみがき、語彙を豊かにすることを学習している。ここでは、言葉や表現から作品のもつメッセージを捉え、自分の可能性について考える。				
1	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫				
	わたしを束ねないで ・朗読を通して、詩のもつイメージを捉える。 ・作者の思いを読み取り、自分の可能性について考える。						つまずきやすいポイント		・詩のイメージを捉えて朗読すること。		
							工夫・手立て		・グループ活動を取り入れる。(朗読) ・chromebookの活用。 ・デジタル教科書の活用。		
評価規準											
知識・技能		言葉の使われ方や表現の特色に気がつけながら詩を朗読している。				思考・表現・判断		詩に描かれた情景や作者の思いを想像しながら、社会状況や人間の生き方について考えている。		主体的に学習に取り組む態度	詩を読んで進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。
		プリント・行動観察						プリント・行動観察			プリント・行動観察・自己評価

学年										
小学校						中学校				
1	2	3	4	5	6	1	2	3		
小笠原村立小笠原中学校 国語科 3年 年間指導計画										
月	単元名	未来へ向かって(5)				系単元の系統性の	3年間の国語の学習を振り返り、場の状況によって言葉を選び、考えをわかりやすく伝える。また、語感を磨き、語彙を豊かにし、文章の構成を工夫する。			
2	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫			
	三年間の歩みを振り返ろう ・三年間の学びを振り返り、冊子のテーマを決める。 ・冊子の構成を考える。 ・冊子を作る。 ・発表会を開く。						つまずきやすいポイント	・テーマに基づいて情報を整理すること。		
							工夫・手立て	・ワークシートの工夫。(情報カード) ・chromebookの活用。 ・デジタル教科書の活用。		
知識・技能		目的や相手を意識して言葉を選び、冊子をまとめようとしている。 相手や場を意識しながら適切な言葉を選び、自分の考えを伝えている。				思考・表現・判断	相手を意識して敬語を適切に使い、自分の考えがわかりやすく伝わるように構成を考えて発表している。 自分の考えや思いがわかりやすく伝わるように構成や内容を考えて冊子を作っている。		主体的に学習に取り組む態度	言葉を選んだり構成を工夫したりし、今までの学習を生かして、文章にまとめたり、友達の発表を聞いて質問したり評価したりしようとしている。
		プリント・発表・行動観察					プリント・発表・行動観察			プリント・発表・行動観察・自己評価
月	単元名	未来へ向かって(3)				系単元の系統性の	1年間の話すこと・聞くこと、読むこと、書くことの学習を振り返り、身に付けた力を確認する。			
3	学習活動						「わかる」から「できる」授業への工夫			
	学習を振り返ろう ・学習課題に取り組む。						つまずきやすいポイント	・課題で問われていることを読み取り、答えること。		
							工夫・手立て	・今までの学習を振り返る。		
評価規準										
知識・技能		相手や場を意識して説明文を書いている。				思考・表現・判断			主体的に学習に取り組む態度	文章や資料を読み取り、今までの学習を生かしてそれぞれの学習課題に取り組もうとしている。
		プリント・行動観察								プリント・行動観察・自己評価

学年									
小学校						中学校			
1	2	3	4	5	6	1	2	3	
小笠原村立小笠原中学校 国語科 3年 年間指導計画									
月	単元名	書写(10)				系単元の	中学1年生で字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くことを学習している。中学2年生で行書の点画の省略や筆順の変化、行書に調和する仮名、行書と仮名の調和について学習している。ここでは、その学習を活かし、目的に応じて、効果的に文字を書くことの意義を理解する。		
5 6 12	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫			
	文字を効果的に使うために デザインと文字 未来へ向かって 3年間のまとめ					・今までの学習を生かして書くこと。 ・デジタル教科書の活用			
						つまみずきやすい 工夫・手立て			
知識・技能		今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 作品・行動観察			思考・表現・判断		毛筆を書写するなかで、3年間で学習した知識・技能の生かし方を考えている。 作品・行動観察		主体的に学習に取り組む態度 積極的に3年間で習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして自分で決めた課題に沿って書くこととしている。 作品・行動観察
月	単元名	伝統的な言語文化(5)				系単元の	中学1・2年生での学習を活かし、源平戦や散らし取りのゲームを通して、我が国の言語文化に触れる。		
12	学習活動					「わかる」から「できる」授業への工夫			
	百人一首 ・百人一首に取り組む(源平線・散らし取り)					・百人一首を覚えること。 ・ワークシートの工夫。(百人一首の覚え方) ・グループ活動を取り入れる。 ・映像教材の活用。			
						つまみずきやすい 工夫・手立て			
評価規準									
知識・技能		目標より多くの札を覚えることができる。 プリント・行動観察			思考・表現・判断				「百人一首」のゲームを通じて親しんでいる。 プリント・行動観察